

2022年4月28日

IOSCOによる「株式の流通市場におけるマーケットデータの論点と考慮事項に関する報告書」の公表

証券監督者国際機構 (IOSCO) の代表理事会は本日、規制当局がマーケットデータの規制を見直す際の論点と考慮事項を示した報告書を公表した。

報告書「株式の流通市場におけるマーケットデータ:現在の論点と考慮事項」は、マーケットデータが効率的な価格発見と公正かつ効率的な市場の維持に不可欠な要素であることを強調している。具体的には、マーケットデータにより、市場参加者は流動性を特定し、情報に基づいて自動化された注文転送 (order routing) や投資判断を行い、最良執行などの規制要件を遵守することができる。

流通市場の発展を受けて、マーケットデータのニーズは変化し、多くの法域の市場参加者は、マーケットデータのコスト、アクセス可能性、公平性、データの統合に関する懸念を提起してきた。2020年12月に公表された市中協議文書「株式の流通市場におけるマーケットデータ」では、これらの論点を検討し、取引に必要なデータの種類、マーケットデータの利用、公正、公平、適時のマーケットデータへのアクセス、データの統合に関して提起された懸念のいくつかについて、フィードバックと解決策となりうる対処を呼び掛けた。

本報告書において、IOSCOは、受領したコメントの概要を提供するとともに、これらに基づき、規制当局が取引所や店頭市場において提供されるマーケットデータの規制を見直す際に考慮すべき事項として以下の3点を提示している。

- 取引前データ (注文や気配に関する情報) や取引後データ (約定に関する情報) は、取引の透明性を高める上で重要である。また、すべての市場参加者が効果的かつ公正に流通市場に参加し、十分な情報に基づいた投資、自動化された注文転送 (order routing) 、取引に関する意思決定を行うために必要なマーケットデータの要素を適切に考慮することが重要である。市場参加者のニーズは、参加者のビジネスモデル、特定の法域における市場構造、市場参加者のタイプ (個人、法人、自己勘定取引を行うか否か) などの要因によって異なる可能性がある。
- マーケットデータへの公正なアクセスは、市場参加者にマーケットデータを提供する上で重要である。公正なアクセスには、マーケットデータの価格設定、接続条件と価格設定、契約上の取決めなどの問題が含まれる場合がある。マーケットデータは必ずしも互換性があるわけではなく、適切な場合には、異なる取引所間で公正な

アクセスが確保されるよう支援することが重要な考慮事項となる。さらに、無償データまたは遅延データへのアクセスが一部の参加者のニーズをどの程度満たすことができるかを考慮することも有用である。

- 適切な場合には、データ統合はマーケットデータへのアクセスを改善する可能性があり、状況によっては、コストを削減し、流動性を特定し、流動性が断片化されている可能性のある法域における取引執行の質を比較する際に役立つ可能性がある。

(Note to the Editor は省略)

(以 上)